2026年11月12日

各　位

会　社　名　株式会社サンマルクホールディングス
代 表 者 名　代表取締役社長　藤 川 祐 樹
（コード番号　3395　東証プライム）
問 合 せ 先　取締役管理本部長　難 波 篤
Ｔ　Ｅ　Ｌ　(086)　246 ― 0309

2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の取り下げに関するお知らせ

2026年５月13日に公表しました2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので下記のとおりお知らせいたします。また、同日に公表しました2027 年３月期通期業績予想を取り下げることといたしましたので、併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と実績値の差異

2027年３月期第２四半期（中間期）累計期間連結業績予想と実績値の差異(2026年４月１日～2026年９月30日)

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（Ａ）	百万円 45,200	百万円 2,200	百万円 2,100	百万円 1,000	円　銭 46.65
実　績　値　（　Ｂ　）	44,972	1,689	1,629	587	27.39
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△227	△510	△470	△412	－
増　減　率（　％　）	△0.5	△23.2	△22.4	△41.3	－
（ご参考）前期第２四半期実績 （2026 年３月期第２四半期）	43,585	2,363	2,250	1,048	48.22

２．差異の主な理由

2027 年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想につきましては、賃上げの継続による所得環境の改善や堅調なインバウンド需要などを背景に、景気は緩やかに回復しているものの、中東情勢の緊迫化やロシア・ウクライナ情勢の長期化などに伴う地政学リスクの高まりに加え、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、為替変動の影響が継続する前提のもと算定しておりました。しかしながら、前年下半期以降のアジア地域における渡航動向の変化が、特に牛カツ事業において当初の想定を上回る影響を及ぼしたことから、売上高は前年同期を上回ったものの、業績予想を下回る結果となりました。利益面につきましても、牛カツ事業における上記のインバウンド需要の減速に加え、サンマルクカフェ事業を中心に販促費が増加した一方で、その効果が想定を下回り増収に十分結び付かなかったため、人件費や原材料費等のコスト上昇を吸収するには至らず、各段階利益は前年同期及び業績予想をいずれも下回る結果となりました。

３．2027 年３月期通期業績予想の修正

2027 年３月期通期連結業績予想の修正(2026 年４月１日～2027 年３月 31 日)

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	百万円 93,000	百万円 5,300	百万円 5,100	百万円 2,900	円　銭 135.28
今回修正予想（Ｂ）	未定	未定	未定	未定	未定
増　減　額（Ｂ－Ａ）	－	－	－	－	－
増　減　率（　％　）	－	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （２０２６　年　３　月　期）	88,432	5,149	5,058	2,705	125.23

４．取り下げの理由

2026年９月17日に公表しました「子会社の設立及び株式会社ケー・エキスプレスからの吸収分割による一部事業の承継に関するお知らせ」のとおり、株式会社ケー・エキスプレスが営む「つるとんたん」事業に関する資産、契約その他の権利義務を、当社が100％子会社として新設する株式会社つるとんたんに、吸収分割の方法で承継すること等を内容とする合意書を同日に締結し、吸収分割の効力発生日は2026年12月１日を予定しております。

本件の実施により、2026年５月13日に公表しました2027年３月期通期業績予想の前提条件が大きく変更されることとなりました。「つるとんたん」事業については、吸収分割により対象事業を承継することから、承継後の当社グループにおける事業運営体制を前提とした売上高および費用等の損益への影響について、現時点で合理的に見積もることが困難であります。加えて、本件に伴い計上されるのれんの金額およびその償却年数についても現時点では未確定であることから、同日に公表しました2027年３月期通期業績予想を取り下げることといたしました。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、ご参考として、「つるとんたん」事業を除く 2027 年３月期通期業績予想につきましては下記のとおりであります。

	売　上　高	営　業　利　益	経　常　利　益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期業績予想	百万円 93,000	百万円 4,500	百万円 4,300	百万円 2,100

2027 年３月期第２四半期（中間期）累計期間の売上高及び各段階利益は当初計画を下回る水準で推移いたしました。下半期においては、賃上げの継続による所得環境の改善や堅調なインバウンド需要が引き続き見込まれる一方、上記２．に記載したアジア地域における渡航動向の変化に加え、人件費や原材料費等のコスト上昇が長期化し、先行き不透明な状況が続くものと見込んでおります。これらの事業環境及び上半期の業績動向を踏まえ、上記の通期連結業績予想としております。

※上記の予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報及び予測に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上